

4 株式会社国際デザインセンター

令和3年7月1日現在

設立年月日	平成4年4月1日	代表者氏名	代表取締役社長 伊藤 康之		
所在地	名古屋市中区栄三丁目18番1号			電話番号	052-265-2100
ホームページアドレス	http://www.idcn.jp/				
資本金・基本金	12,147,000千円	市出資・出捐金	4,005,000千円 (33.0%)		
所管部局	経済局産業労働部産業企画課			電話番号	052-972-2412
設立目的	デザインに関する諸事業を通じて、地域の産業・文化の発展を図るとともに、国際社会に貢献する情報発信拠点を目指すことを目的とする。				
主な事業	事業名	令和2年度 営業収益	事業の概要		
	不動産事業	570,994千円	商業施設の運営、施設貸与、ナディアパーク施設運営管理等		
	デザイン事業	69,643千円	デザイン企画制作事業、クリエイター創業支援スペースの企画運営等		
役職員数		常	勤 非 常 勤		
	役員数	2人	(うち市派遣)	0人	(うち市OB) 1人 20人
	職員数	8人	(うち市派遣)	1人	(うち市OB) 0人 3人
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)		6,522千円	正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)		4,975千円
			正規職員平均年齢 (市派遣職員除く)		46.7歳
市からの財政支出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	委託料	13,689千円	15,914千円	21,525千円	
	内 随意契約金額	(0千円)	(10,601千円)	(16,403千円)	
	補助金	0千円	0千円	0千円	
	指定管理料	0千円	0千円	0千円	
	貸付金 (年度末残高)	0億円	0億円	0億円	
損益計算書 (正味財産増減計算書)	経常収益	690,432千円	725,781千円	695,602千円	
	経常費用	718,701千円	737,135千円	750,494千円	
	経常利益(損失)	▲ 28,269千円	▲ 11,354千円	▲ 54,892千円	
	当期利益(損失)	16,785千円	8,234千円	▲ 56,840千円	
貸借対照表	総資産	7,248,213千円	7,168,632千円	7,256,380千円	
	内 流動資産	(1,030,509千円)	(1,041,723千円)	(990,069千円)	
	内 固定資産等	(6,217,704千円)	(6,126,909千円)	(6,266,311千円)	
	総負債	583,922千円	684,687千円	698,223千円	
	内 流動負債	(312,127千円)	(481,433千円)	(473,643千円)	
	内 固定負債等	(271,794千円)	(203,254千円)	(224,580千円)	
	純資産(正味財産)	6,664,291千円	6,483,945千円	6,558,157千円	

経営に関する指標（共通指標）

4 株式会社国際デザインセンター

○法人の自立性

	令和元年度	令和2年度	対前年度増減
市からの収入割合 $\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	2.2%	3.1%	+0.9%
市との随意契約比率 $\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	66.6%	76.2%	+9.6%
	令和2年7月1日現在	令和3年7月1日現在	対前年度増減
市職員の役員就任割合 $\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	13.0%	13.6%	+0.6%
固有職員比率 $\left(\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	87.5%	87.5%	0.0%

○組織運営の効率性

	令和元年度	令和2年度	対前年度増減
販売・管理費比率 $\left(\frac{\text{販売・管理費}}{\text{経常収益}} \right)$	63.0%	66.5%	+3.5%

○財務の健全性

	令和元年度	令和2年度	対前年度増減
自己資本比率 $\left(\frac{\text{純資産（正味財産）}}{\text{総資産}} \right)$	90.4%	90.4%	0.0%
流動比率 $\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	216.4%	209.0%	▲7.4%
固定長期適合率 $\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産＋固定負債}} \right)$	91.6%	92.4%	+0.8%
借入金依存度 $\left(\frac{\text{借入金＋社債}}{\text{総資産}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
剰余金（欠損金） $\left(\frac{\text{純資産（正味財産）}}{\text{－基本金・資本金}} \right)$	▲ 5,663,055千円	▲ 5,588,843千円	+74,212千円

○ 経営戦略計画（R2～R4）の概要

経営戦略方針
公共性と企業性を併せ持つ第三セクターの株式会社として、今後、さらに重要性を増してくるデザイン事業について、行政や産業界との連携により積極的な役割を果たす。 デザイン事業を収益面で支える不動産事業については、「クレーアー」運営体制の強化、効率化を図るなど、収益性の向上に努め、経営の安定化を目指す。

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標（単位）	2 目標値	2 実績値
愛知県、名古屋市など行政、産業界及びデザイン関連団体と連携を図り、デザイン経営等の普及啓発、デザイン相談、若手クリエイターの育成などに取り組む。 【公共サービスの充実】	デザイン支援件数 （件）	130	134
デザイン事業を円滑に推進するため、収益の改善、経営の安定化を目指す。 【財務内容の改善向上/効率性の発揮と成果】	経常収支比率 （%）	100	92.7
OJTのみならず専門知識の習得に役立つ社外研修等を積極的に活用し、最先端の知識・ノウハウを習得することにより、社員能力向上を図る。 【人材力・現場力の強化】	社外研修等参加率 （%）	100	100